# 第６次厚木市環境基本計画及び第３次厚木市里地里山保全等促進計画策定に係る意見交換会について

| | |
|---|---|
| 意見交換会の名称 | 第6次厚木市環境基本計画及び第3次厚木市里地里山保全等促進計画策定に係る意見交換会 |
| 開催日時 | 令和8年9月 28 日（月）午後6時 30 分から午後8時 30 分まで |
| 開催場所 | 厚木市役所4階大会議室 |
| 参加者数 | 10 人 |
| 担当課 | 環境政策課 |
| 結果公開日 | 令和8年 10 月 13 日（火） |
| 会議の経過 | 1　開会<br>2　課長挨拶<br>3　第6次厚木市環境基本計画及び第3次厚木市里地里山保全等促進計画の策定について概要説明<br>4　意見交換<br>5　閉会 |

第6次厚木市環境基本計画の策定について

| | 質問･意見の概要 | 市の考え方 |
|---|---|---|
| 1 | 目標数値や成果指標はどこに掲載される予定なのか？ | 目標数値や成果指標については、具体的な取組の前後いずれかに一覧で掲載を予定しています。 |
| 2 | 施策体系（案）にある重点テーマ「持続可能な都市づくり」については、地球温暖化対策やカーボンニュートラル、脱炭素社会についての関連性が限定的であるように感じるため、記載内容に注意が必要である。 | 各重点テーマと関連性の高い基本目標を示し、それぞれ重点テーマと取組内容の関わりをわかりやすく示してまいります。 |

| | | |
|---|---|---|
| 3 | カーボンニュートラルロードマップや第11 次厚木市総合計画に目標数値が記載されており、もっと再生可能エネルギーを導入しなくてはならないという現状がある。そうした実情が計画から読み取りにくいため、より積極的な表現が必要かと思う。 | 第 11 次厚木市総合計画やカーボンニュートラルロードマップ、地球温暖化対策実行計画等と整合を図り、指標の目標値を設定してまいります。<br>また、計画の1章「環境のいま」において、地球が直面する3つの危機である気候変動、生物多様性の損失、大量生産・大量消費について、国内外や厚木市の状況をわかりやすく示してまいります。 |
| 4 | 太陽光パネルや蓄電池の導入といった環境に対する取組は、個人のみならず地域や社会のメリットとなる。そういった内容を読み手に理解してもらえるよう発信することが大切だと思う。 | 市民や事業者等が環境保全に取り組むことで、生活にどのようなメリットがあるかを環境分野ごとに示してまいります。 |
| 5 | 厚木市にはトラックが多く走っているが、ディーゼルエンジンの車両であり、水素で動く車両は普及していない。産業界に対し、市として水素で動く車両の普及に取り組む姿勢を見せてほしい。 | 第6次環境基本計画では、理念や大きな方向性を共有していくものとし、各分野の具体的な取組については個別計画で推進してまいります。<br>なお、取組事例や先進的事例については、コラム等で掲載を想定しています。 |
| 6 | 目指す環境像が漠然としていて、市民の方が自分の生活に落とし込むことが難しいように思う。具体的な例を示して可視化することで、自分事として市民意識に訴えかける内容にすることが大切だと思う。 | 今回新たに環境像の実現を目指すため、分野横断的な3つの重点テーマ「自然との共生」、「持続可能な都市づくり」、「環境に配慮した行動で、暮らしを豊かに」を設定しました。<br>各重点テーマに関連する5つの基本目標を推進することで、環境像の実現を目指しており、3つのまちづくりのビジョンによってイメージしやすい構成としています。<br>また、各環境施策を推進することで市民生活にどのような価値があるかを示し、環境課題を自分事化できるような構成に努めます。 |

| | | |
|---|---|---|
| 7 | 基本計画は、具体例を用いて市民の方に分かりやすい内容にして欲しい。また、カーボンニュートラルやネイチャーポジティブ、デコ活といった横文字が多いため、意味が分かるように記載に工夫をしてほしい。 | 専門用語等については、巻末の資料編に用語解説を設ける予定です。<br>広く市民の方に分かりやすいよう構成やレイアウトについて工夫してまいります。 |
| 8 | 産業界では脱炭素に向けた取組は進んでいるが、家庭での取組は遅れているといわれている。気軽に身近なところからデコ活に取り組めることを周知してほしい。 | 本計画の策定では、各分野の環境施策が日々の暮らしをどのように豊かにするかといった視点を盛り込んでいます。<br>取組事例などを掲載し、理解しやすい内容となるよう検討してまいります。 |
| 9 | 3年前に開催した気候市民会議の成果として、脱炭素市民アクアションプランを作成した。計画の内容にも反映されていると思うが、計画の中で成果を紹介して頂けるとありがたい。 | あつぎ気候市民会議は、市民団体主導で実施した全国的に見ても先進的な事例と認識しております。<br>市民協働での取組例として、コラム等での掲載が考えられます。 |
| 10 | カーボンフットプリントの考え方を説明した上で、自分事としてごみ問題を捉えてもらうために、ごみの有料化を検討してはどうか。 | ごみの有料化の検討など具体的な施策については、個別計画での推進となります。御意見があった旨を担当課に共有してまいります。 |
| 第3次厚木市里地里山保全等促進計画の策定について | | |
| 1 | 里山活動と大学生とのマッチングについて、市内5大学全てに声掛けする予定か？ | 御認識の通りです。 |
| 2 | 里地里山という言葉には里地と里山という2つの言葉が合わさっているように思うが、その定義を改めて教えてほしい。 | 一般的に報道等では、里山というと言葉が用いられることが多いですが、本市厚木市里地里山保全等促進条例では里地里山として定義しております。<br>これは、「里山」の言葉の印象として、竹林や森林等のイメージが強く、同条例は農地やため池、それらを含めた集落を指す「里地」部分も対象であることを明確に示すため「里地里山」としております。 |

| | | |
|---|---|---|
| 3 | 取組に記載のあるネイチャーポジティブの取組や環境教育を推進していくことはとても良い。取組を推進していく上で、一つの取組が様々な問題の同時解決に結びつくことは有意義だと思うので考慮してほしい。 | 同時期に改定しております第6次環境基本計画の考えでもお示しした、課題の同時解決の視点で取組を進めてまいります。 |
| 4 | 里山保全活動をしている 10 の認定団体があると説明があったが、この中に営農している農家は含まれるか？ | 里山保全活動団体として市が認定している団体は、市民団体を対象としており、農家は含まれません。 |
| 5 | 土地所有者に農家は含まれるか。<br>里山活動団体と土地所有者はどのような契約をするのか。 | 里地里山を形成する土地は、個人の所有となりますので、農家の方も含まれます。土地所有者によって適切に管理がなされれば里地里山は保全されます。<br>しかしながら、高齢化や担い手不足、ライフスタイルの変化など様々な事情により土地所有者の管理が困難となっています。<br>このような土地について、里地里山保全等促進条例に基づき、土地所有者と市認定団体の間で協定を締結し、市認定団体がその土地の保全活動を実施しています。 |
| 5 | 農家については、里地里山の保全団体とは別に農地の貸し借りや支援制度があるのか？ | 農家については、農地法による貸し借りや農地バンクによる利用権設定など、営農を目的とした農家の貸し借りについて制度がございます。<br>また、農業政策として農家に対し補助金等の支援を実施しております。 |

| | | |
|---|---|---|
| 6 | 七沢森林公園や荻野の市保安林で里山保全に関わった際、土地が荒れていて木の代謝や更新ができていない状況だった。また、住宅地の裏に猪の沼田場があり、木々の伐採作業をボランティアがやるには危険に感じた。技術や経験が必要な作業でもあるので、担い手育成のため若い人材を育てる環境を作っていくという内容を計画の中に入れてほしい。 | 里地里山の保全活動については、活動内容によって農林業に係る知識が必要となります。<br>専門家や講師派遣を推進するとともに、若い人材育成の環境整備に努めてまいります。 |
| 7 | 七沢や荻野の地域は棚田のダムとして治水効果が高いところであり、保全に向けて具体的なアクションを起こせるよう計画に考慮してほしい。 | 里地里山が荒廃すると森林に日が入らなくなり、下草が枯れ、雨によって土砂が流れやすくなります。<br>その結果、土砂崩れや洪水のリスクにつながるなど、市民の生活にも深く関わります。<br>里地里山が適切に管理されないとどのような影響があるかを具体に示し、行動変容を促す内容に努めます。 |
| 8 | 里地里山は観光資源としてもすごく魅力的な場所に思うので、そういった視点を計画に示してほしい。 | 本市の里地里山は、特に都市住民に対する観光資源として魅力あるものと認識しておりますので、御意見を参考に計画に反映してまいります。 |
| 8 | 企業や大学から協力を得て人材を育てたいという内容は理解できるが、保全の過程で伐採した材木を利用した産業を興す視点も必要なのではないか。 | 里地里山保全活動を通じて、農産物や林産物のブランド化、地産地消を通じた地域産業の活性化にもつながる可能性を有していると認識していますので計画に反映してまいります。 |
| 9 | 里地里山の保全には農業や林業も関わっているため、農業政策課と環境政策課の共同で考えていくべき問題もあるかと思うがどう考えるか。 | 農業政策課では農林業者への支援として、施策を推進しております。<br>一方、環境政策課では里地里山保全等促進条例に基づき、市認定団体が保全等活動をすることを可能とし、その活動に対し支援しています。<br>農林業者と市民団体、主体が異なる点について御理解いただければと思います。<br>鳥獣被害など共通した課題については連携を図りながら対応してまいります。 |

| | | |
|---|---|---|
| 10 | 中山間地では鳥獣被害や機械が入らない耕作に不利な土地を中心に耕作放棄地となっている。<br>本来は土地所有者である農家が耕作できる状態を目指すべきであり、根本的な課題として、農家への支援が必要なのではないか。<br>農業政策課、環境政策課の両課で方向性について協議し、計画を策定すべきでないか。 | 「里地里山保全等促進条例」や同計画の名称からハードの整備面についても、担っているという印象がありますが、市認定団体への支援を中心としたソフト面の取組を示した計画となります。<br>一方、農業政策課では農林業者を対象とした支援や森林の整備に関する計画を策定しており、両課の役割は異なると認識しています。<br>農業施策における耕作放棄地対策の上乗せの取組として、同条例における市認定団体の取組があると御理解いただければと思います。 |
| 11 | 取組4-8にあるグリーンインフラ機能といった専門用語等について、全体を通じて子どもたちにも分かるように説明があると良いと思う。 | 専門用語については、注釈や用語解説を設けるなど、わかりやすい内容に努めます。 |